

小学校 第5学年 社会科「わたしたちの生活と環境」

育成を目指す資質・能力について

日本の災害について、災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して予想や学習計画を立てたり見直したりして主体的に学習問題を追及し、解決しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

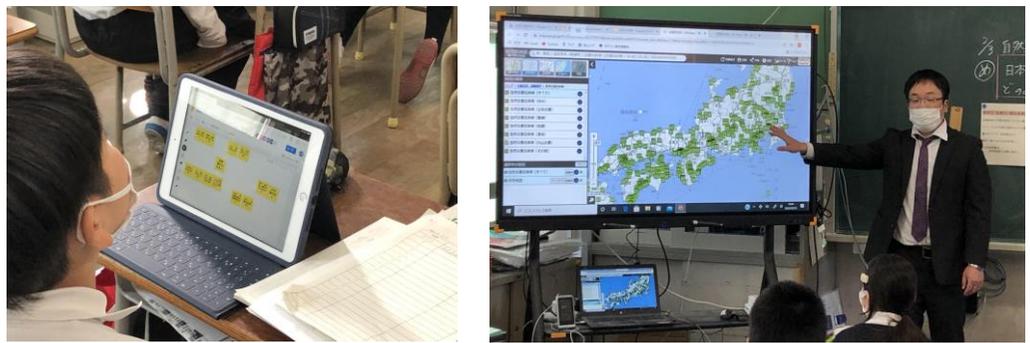
事例の概要

	児童・生徒	教師
①	日本で起きた災害を想起し、本時のめあてを確認する。	地震・津波、風水害、火山の噴火、土石流などの資料を提示し、位置と時間の経過に気付かせる。
②	自然災害伝承碑をもとに、日本で過去に起きた災害について調べる。 ペアで活動 タブレットA：国土地理院地図 タブレットB：jam boardに気づきを記入する。	国土地理院地図の読み方を確認する。 都道府県の位置を確認するために、地図帳を活用してもよいことを伝える。
③	自然災害伝承碑の目的について考える。	「過去の教訓を踏まえた的確な防災行動により、被害の軽減を目指す」ために残していることを補足する。
④	本時の振り返りをする。	興味をもったことや調べたいこと、疑問、「これからどうしていくべきか」などを視点にしてノートに振り返りを書かせる。

【活用したソフトや機能】

タブレット端末：jam board safari
国土地理院地図（自然災害伝承碑）
電子黒板：Google スライド

【事例におけるICT活用の場面】



【事例におけるICT活用のポイント】

- ① jam boardに慣れるように、普段の授業から、気づきを書くような場面では、積極的に活用していく。
- ② 授業で使ったホームページや画像、子供が興味をもつことができるような題材は意識して取りため、授業で活用できるようにする。